

みずほCustomer Desk Report 2020/01/14 号(As of 2020/01/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	109.55	1.1117	121.79	1.3044	0.6900
SYD-NY High	109.95	1.1147	122.48	1.3045	0.6919
SYD-NY Low	109.50	1.1112	121.78	1.2961	0.6892
NY 5:00 PM	109.94	1.1133	122.43	1.2987	0.6903
NY DOW	28,907.05	83.28	日本2年債	-	-
NASDAQ	9,273.93	95.07	日本10年債	-	-
S&P	3,288.13	22.78	米国2年債	1.5873	1.82bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.6503	1.80bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.8468	2.80bp
シカゴ日経先物	23,955.00	260.00	独10年債	-0.1970	4.10bp
ロンドンFT	7,617.60	29.75	英10年債	0.7480	▲1.90bp
DAX	13,451.52	▲31.79	豪10年債	1.2050	▲3.90bp
ハンセン指数	28,954.94		USDJPY 1M Vol	4.85	0.05%
上海総合	3,115.57	23.28	USDJPY 3M Vol	5.13	▲0.03%
NY金	1,550.60	▲9.50	USDJPY 6M Vol	5.50	0.04%
WTI	58.08	▲0.96	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	183.01	▲1.12	EURJPY 3M Vol	5.63	▲0.02%
ドルインデックス	97.37	0.02	EURJPY 6M Vol	5.90	▲0.64%

東京	アジア時間のドル円は109.59レベルでオープン。イン情勢に一服感が見られる中、アジア人民元相場が昨年7月以来、約半年ぶりに6.9の台をを上回る元高(USD/CNHは下落)が進むなど、今週15日の米中フェーズ1合意署名を控え、リスクセンチメントの改善が一段と進み、円売り優勢地合が継続。ドル円は109.60近辺での底堅い値動きが続き、109.63レベルで海外市場に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.63レベルでオープン。アジア時間を引き継ぎ、特段材料が見られないなか、15日に米中第一段階合意署名を控え、リスクオンのドル買い・円売り優勢地合が続いた。12月高値の109.73を上抜けると109.93まで上昇し、109.89レベルでNYへ渡った。ボンドドルは、1.3029レベルでオープン。昨夜に、英中銀金融政策委員のプリル氏が英紙FTとのインタビューで、国内経済指標に早期かつ著しい改善が見られない限りは今年30日の政策会合で利下げに票を投じるとの考えを示したことを受け、欧州時間に入るとボンド売りが優勢となった。その後、英11月度鉱工業生産と製造業生産がそれぞれ前月に比べて-1.2%と-1.7%と、市場予想を下回ったことが、ボンド売りを加速させ、正午前に1.2961まで下落した。1.2978レベルでNYに渡った。(ロンドン時間14:00)
ニューヨーク	ドル円は、海外時間に、今週15日に控える米中第一段階合意署名を前に、リスクオンのドル買いを背景に109.93レベルまで上昇後、109.89レベルでNYオープン。イン情勢を巡る懸念が一服していることもあり、109.90近辺での底堅い動きが継続。また米中合意署名を前に、米国が中国を通貨操作国の指定から外す計画との関係筋の話も伝わり、株式市場が本日の高値を付ける中でドル円も本日高値となる109.95を付ける。心理的節目となる110円台乗せをうかがうも、オプション絡みの厚い売りもあり、上抜けすることはできず、その後は様子見地合いとなり狭い幅で推移し、109.94レベルでNYクロス。一方、ユーロドルは、海外時間でドル買いから1.1115レベルまで下落した後、1.1125レベルでNYオープン。やや材料には乏しい中、独債金利上昇に連れてユーロ買いが優勢となり、1.1147をつけた後、ドル売り一巡後はユーロドルは上値を重くし、1.1133レベルでNYクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

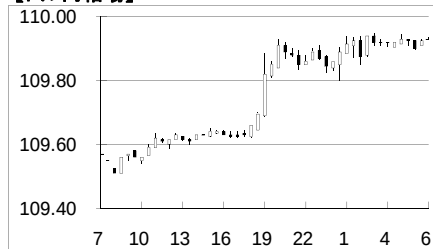
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月10日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	11月 0.9%	0.4%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 145k	160k
	22:30	米 失業率	12月 3.5%	3.5%
	22:30	米 平均時給(前月比)	12月 0.1%	0.3%
	22:30	米 平均時給(前年比)	12月 2.9%	3.1%
1月13日	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 -1.2%/-1.6%	0%/-1.3%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	11月 -1.7%/-2%	-0.2%/-1.6%

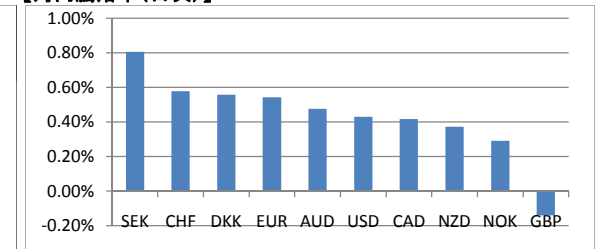
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月14日	17:30	欧 メルシュECB専務理事 講演	-	-
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.4%	0.3%/2.1%
	23:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
		中 輸出/輸入(前年比)	12月 2.9%/9.6%	-1.3%/0.3%
		中 貿易収支	12月 \$45.70b	\$38.73b
1月15日	03:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 結局はレンジ内

昨年に続き、波乱の幕開けとなったドル円相場。今年初のテーマは「中東」であり、イラン革命防衛隊の特殊部隊であるコッズ部隊のソレイマニ司令官が暗殺されたとの報道にドル円は107.65円まで値を下げた。大袈裟なメディアでは第三次世界大戦などというワードも使われていたが、トランプ米大統領がイランへの更なる軍事力の行使をしないの方針を示すと109円台まで値を戻した。

昨年11月1日の107.89円を下値にその後は年末まで108.00-110.00円の狭いレンジ内での推移。今年に入り、年始の波乱のマーケットに最小値幅の続いたここ2年間で脱却かと思われたものの、結局のところレンジ内に戻ってきたかという印象である。もちろん、不透明感が完全に払拭されたわけではなく中東関連のヘッドラインには注視すべき環境ではあるが、年始からの下落分を一夜で全戻しといった展開を目の当たりにしたマーケット参加者が大きなドル売り円買いを仕掛けるとも考えがたい。

また、中東に目が行きがちであるが昨年の中心テーマであった「米中」には今年も目を向けなければならない。大統領選を控えるトランプ大統領としては株価上昇の流れは今年も維持したいというのが本音だろう。今週15日には米中第一段階の合意署名が控えているが、上述の通り株価上昇の流れを維持したい中で今さらネガティブサプライズも想定しがたい。このような点を勘案すると、当面は108.00-110.00円のレンジでの推移が継続すると考えているもののポジティブ材料による上振れリスクを警戒したい。(小野崎順基)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
13	7